

山口新聞

平成30年3月16日(金)

NO.288

【中山間地域等直接支払集落協定】



農地・水・環境
守ろう地域の
手で

288

力合わせ「荒廃させない」

清沢集落協定(下松市)

●会員の皆で
●水路の補
修作業



清沢地区は、下松市北部の山間部に位置する6世帯の小さな集落である。水稲中心の営農を行っているが、高齢化が進み、荒廃農地増加の懸念が広がった。個人での対応に限界を感じ「このままではいけない」との思いから、2015年に組織を発足させ、中山間地域等直接支払交付金を活用することとなった。

約4畝の農地を「5年間荒廃させない」として、構成員が病気などで管理ができなくなった場合は、集めていきたい。

清沢地区は、下松市北部の山間部に位置する6世帯の小さな集落である。水稲中心の営農を行っているが、高齢化が進み、荒廃農地増加の懸念が広がった。個人での対応に限界を感じ「このままではいけない」との思いから、2015年に組織を発足させ、中山間地域等直接支払交付金を活用することとなった。

（会長、木戸正智）
●金曜日掲載●

【X7E】会長●木戸正智
●会員●5人、農業者
▽設立●2015年8月27日
▽連絡先●下松市下谷1467、木戸正智、
電話08333・5330
1279